



◎ほっとするね 緑の府中

府中市



▲ 修景池に咲く大賀蓮

平成26年度

職員採用案内

あなたのやる気を、このまちに



▲ 浅間山に咲くムサシノキスゲ

市長メッセージ

府中市は豊かな自然環境と充実した都市基盤が調和した、人口約25万人を擁する東京の中核的都市として成長を遂げています。

様々な調査や指標で、住民満足度が高いと評価をいただいておりますが、その要因の1つとして、高度経済成長期に多くの公共施設やインフラを整備したことが挙げられます。しかしこれらの多くは、同時期に劣化が進むため、現在、長期的な維持管理に関する取組みを行っているところです。

また、東日本大震災以来、防災危機管理の意識が日本全体で高まりましたが、「安全、安心なまちづくり」は本市においても重要課題の1つです。ハード面を強化するだけでなく、関係機関や地域住民と連携し、災害に強いまちづくりの構築を進めなければなりません。

本市はこれまで、比較的豊かな財政基盤に支えられていましたが、今後の財政見通しを踏まえると大変厳しい状況にあります。こうした財政難の中、様々な問題に立ち向かうためには、柔軟な発想と機動的な対応が必要となります。

府中市は、市民サービス向上のために前向きに挑戦してやり遂げる意欲と情熱を持ち、様々な声を聞き、市民や団体、企業とともに協働できる人を求めています。

府中をもっとよいまちにしたいと思うあなた。私や職員、そして市民の皆様とともに、「One For All, All For One」の言葉のもとに、府中の未来を創っていきましょう！皆さんの挑戦を心からお待ちしております。



府中市長 高野律雄

市制施行60周年

市制施行頃の市役所庁舎



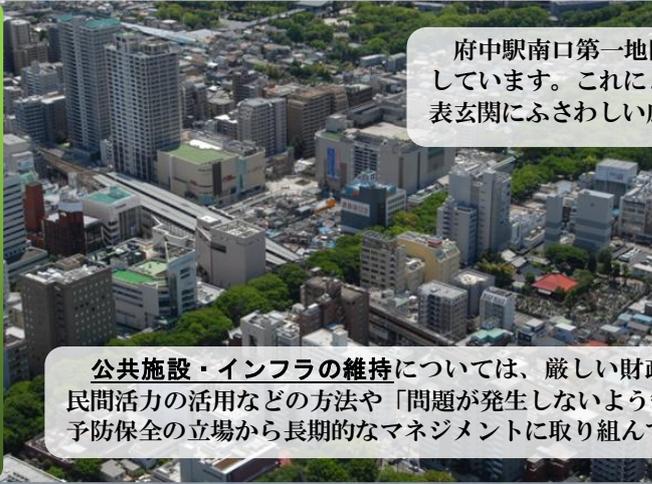
府中市は、平成26年度に市制施行60周年を迎えます。

この節目に際し、「協働」をテーマに、平成26年10月19日（日）の記念式典・市民パレードを始めとした各種記念事業を実施します。

記念事業では、市民の提案による事業も行います。市制施行60周年を多くの市民の方々とともに作り、ともに祝う「協働」というテーマならではの企画を進めています。

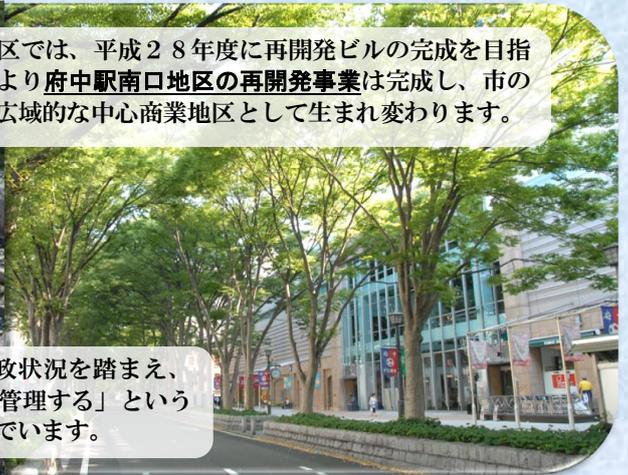
まち案内

都市基盤



府中駅南口第一地区では、平成28年度に再開発ビルの完成を目指しています。これにより府中駅南口地区の再開発事業は完成し、市の表玄関にふさわしい広域的な中心商業地区として生まれ変わります。

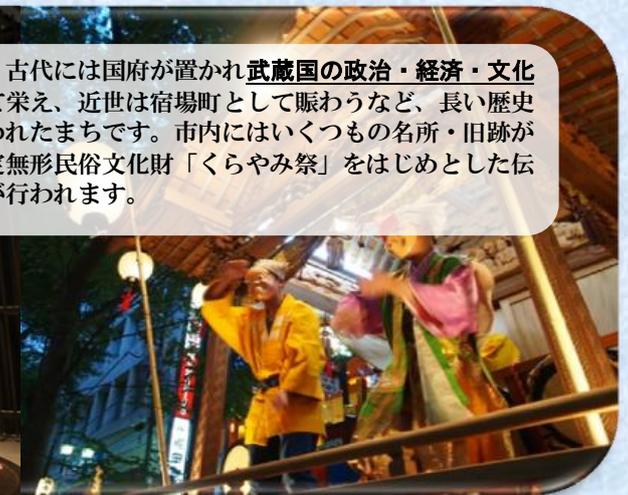
公共施設・インフラの維持については、厳しい財政状況を踏まえ、民間活力の活用などの方法や「問題が発生しないよう管理する」という予防保全の立場から長期的なマネジメントに取り組んでいます。



歴史・文化



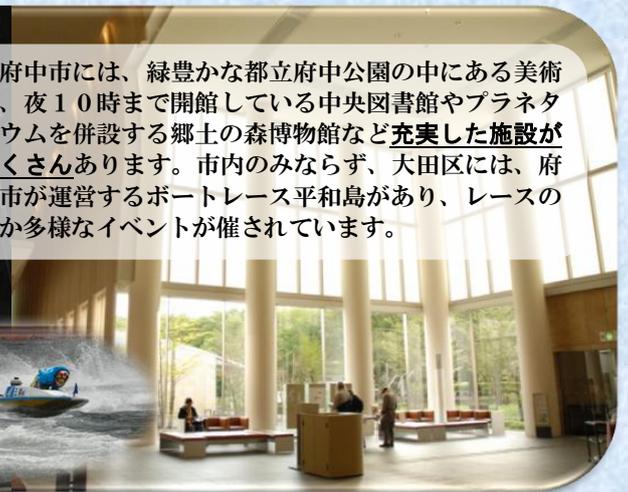
府中市は、古代には国府が置かれ武蔵国の政治・経済・文化の中心として栄え、近世は宿場町として賑わうなど、長い歴史と伝統に培われたまちです。市内にはいくつもの名所・旧跡があり、都指定無形民俗文化財「くらやみ祭」をはじめとした伝統的な催しが行われます。



施設



府中市には、緑豊かな都立府中公園の中にある美術館、夜10時まで開館している中央図書館やプラネタリウムを併設する郷土の森博物館など充実した施設がたくさんあります。市内のみならず、大田区には、府中市が運営するボートレース平和島があり、レースのほか多様なイベントが催されています。



府中市観光情報センター



まちの魅力発見

府中市の魅力を知ってもらうためには、実際に見て感じてもらうことが1番です。大國魂神社の入り口に設置されている観光案内図を最終ページに掲載していますので、ぜひ市内を散策してみてください。

また、大國魂神社交番横にある府中市観光情報センターでは、市内の名所・旧跡など観光スポットの紹介や案内相談を行っています。

市章・市の木・花・鳥



市章

府中の「ふ」と「中」を組み合わせて、市民相互のまどかな結びつきを表現しています。中央には、多摩川の清流をかたどり、市の将来の永遠なる発展を象徴しています。



市の木 けやき

武蔵野の大地に自生し、その姿を数多くとどめ、青空に向かってそびえ立っています。約900年前、源頼義・義家の寄進に発するけやき並木は、今も市内の中心にその偉容を誇り、多くの市民に愛されています。すくすくと天高く伸びる「けやき」は、市政の発展を示唆するようであり、子どもたちの健やかな成長を願う市民の心を象徴しています。



市の花 うめ

早春、厳しい寒さのなかに芳香をただよわせて白、または淡紅色の花を咲かせます。庭木・盆栽として鑑賞され、その高貴にして清楚な姿は古くから人々に愛されてきました。果実は梅干しや梅酒などにと、家庭で重宝されています。百花に先がけて咲く「梅」は、豊かな市民生活を願う市の姿勢を表わし、自然をいつくしむ市民の心を象徴しています。



市の鳥 ひばり

武蔵野の野原や畑に生息し、春には青空高く舞い上がって、美しい声でさえずります。市の南端を流れる多摩川などには、「あげひばり」のりりしい姿が見られ、その美しいさえずりは、疲れた心をいやしてくれるかのようで、府中の春の風物詩としても市民に親しまれています。澄みきった青空に、真一文字に舞い上がる「ひばり」は、だれもが「住みたくなる都市」を目指して発展し続ける府中市を象徴しています。

組織案内

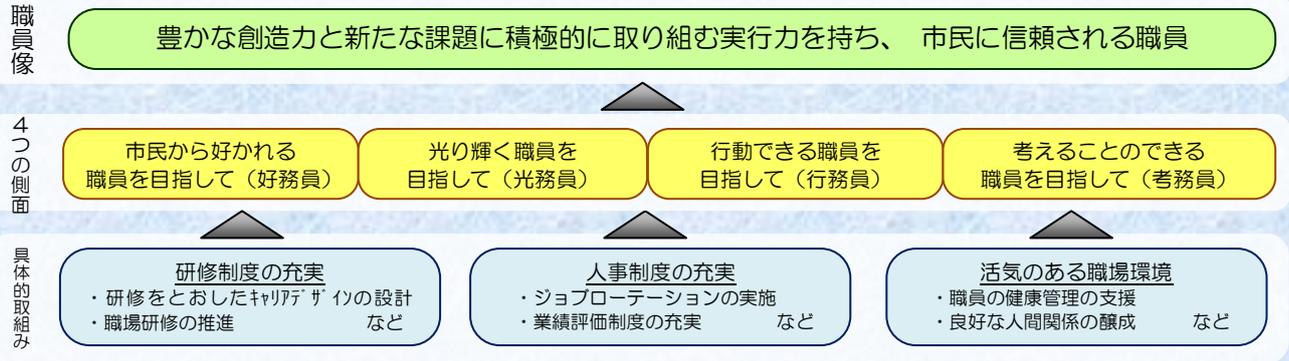
府中市には、次のような部署があります。どの部署も府中市を支える重要な役割を担う、みなさんの活躍の場となります。

(平成25年4月1日現在)

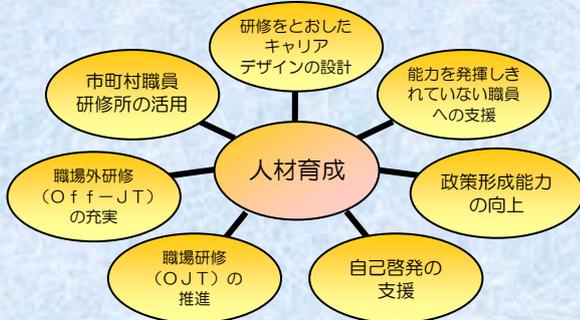


目指すべき職員像

府中市人材育成基本方針では、府中市職員として目指すべき職員像を設定し、この職員像を実現するために、4つの側面を行動指針として掲げ、具体的な取組みを行っています。



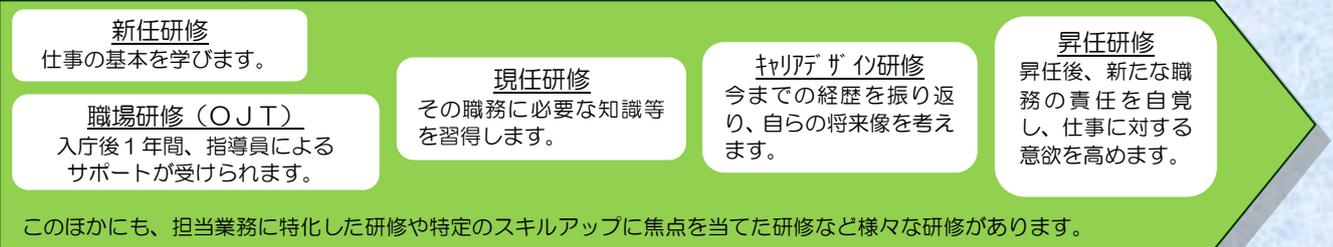
研修制度



職員研修は、職場や組織のニーズを踏まえて職員の自主的な意欲に応える多様な能力開発の機会を提供し、組織目標の実現を図るための職員自身の自己啓発のきっかけづくりや支援の場として、人材育成には欠かせないものです。

今後も重要な役割を担う、研修制度の充実を図るため、府中市では7つの取組みを掲げています。

<具体的な研修例>



人事制度

人事異動

人事異動は、本人の能力・適性・経験などを考慮し、概ね3～5年で行われます。様々な分野で経験を積むことで、広い視野・知識を習得し、バランスのとれた能力開発を図ります。

なお、自己申告制度により異動先を希望することもできます。

勤務実績に対する評価制度

評価は、決められた基準・手順により所属長が行い、評価結果は人材育成、昇任試験や給与への反映などに活用されます。

職員一人ひとりの能力向上を図り、頑張りに応じた適切な処遇反映を行います。

昇任フロー



昇任は、勤務成績や研修実績等を考慮し、昇任試験や選考により行われます。職員一人ひとりが知識、能力、意欲等に応じた職に就くことができます。最も早く29歳で係長級に昇任します。

その他、活気ある職場環境づくりを支える制度として、産業医による健康相談などがあります。

先輩職員メッセージ

Q. どのような仕事をしていますか？

政策課は、市の様々な業務をサポートしている仕事が多いため、イベント等の表に出る仕事はそれほどありませんが、市政を下支えしているという意識を持って日々仕事に取り組んでいます。

私の担当は、市が実施した事業を評価する「行政評価制度」が中心で、第6次府中市総合計画に合わせた制度にするため、制度改修に取り組んでいます。



政策総務部政策課 石渡通暁
(平成19年度採用 事務職)

Q. 職場の雰囲気はどうですか？

政策課には定型業務が少なく、自分の考えを伝えやすい雰囲気があるので、職場ではいつも管理職と担当者間で活発な議論が交わされています。担当者としての考えが、市の方針に反映されることもあるため、責任が大きくなりますが、それに比例して、やりがいや大きな達成感を得ることに繋がっています。

受験生へのメッセージをお願いします。

公務員になるための試験勉強は大変だと思います。市役所の職員になってからも、担当業務の勉強が当然必要ですが、それ以上に人と接するコミュニケーション力が求められます。

毎年、私は少しの時間ですが、新任研修で講義をしていますので、入庁してすぐにお会いするかもしれません。そのときは、遠慮なく気軽に話しかけていただき、コミュニケーション力をぜひ試してみてください！お会いできるのを心待ちにしています。



市民部納税課 江口真耶
(平成23年度採用 事務職)

Q. どのような仕事をしていますか？

市税の歳入事務に携わっています。日々の税収入の納付状況をチェックし、様々な統計資料を作成しながら、東京都や各課へ報告します。

また、市民の方からの市税の納付に関する相談や、口座振替の手続き、納税証明の発行についての問い合わせ応対業務をしています。

Q. 職場の雰囲気はどうですか？

業務は個人単位、係単位、課共通のものなど様々ありますが、常に職員同士で気を配りあい、問題が起きた時には周りの方が親身になってサポートしてくれるので、1人で抱えこむことはありません。多数の職場ですが、明るく素敵な先輩方・同僚に囲まれ、とても和気あいあいとした雰囲気の中で仕事ができています。

受験生へのメッセージをお願いします。

自分自身がそうでしたが、入庁時は専門知識や接客経験に乏しくても、窓口で対応して回数をこなすほど自信がつかますし、先輩方も優しく丁寧に指導してくれます。市役所の業務は多岐にわたっていますが、どの職場に配属されても、市民の皆様の生活の支えとなる、やりがいのある仕事ができると思います。

私も受験生だった時は、試験勉強が進まず思い悩むこともありましたが、同じように辛い時期を過ごされている受験生の皆さんも、適度に息抜きをしながら頑張ってください。一緒に府中市で働けることを楽しみにしています。

Q. どのような仕事をしていますか？

介護保険サービス事業所の指定・指導を担当しています。事業所の運営が介護保険法などの基準を遵守しているかの確認や、サービス提供に係る事業者からの相談・問い合わせ対応が主な業務内容です。

介護保険制度を担う事業者に対する支援は、市民の方への必要かつ適切なサービス提供につながるやりがいのある仕事です。

Q. 職場の雰囲気はhowですか？

事務と保健師で構成されている係で、難しい案件などそれぞれの立場から意見を出し、話し合うことのできる職場です。内容によってはハードなものもありますが、フォロー体制ができており、一人で抱え込まず、全体で協力し連携しながら対応しています。



福祉保健部高齢者支援課 佐藤仁美
(平成21年度採用 事務職)

受験生へのメッセージをお願いします。

就職活動や試験対策で、悩んだり焦ったりと苦しい時期もあると思います。目標に向かって努力することが何よりも大切ですが、時には息抜きをして、メリハリを持って乗り越えていってください。

最近では社会人経験のある方も多く、私も民間企業を経て入庁しましたが、違う分野であってもその経験は必ず活かれます。皆さんの新しい力をぜひ府中市で発揮してください。



行政管理部建築施設課 中村太一
(平成17年度採用 技術職)

Q. どのような仕事をしていますか？

学校などの市内公共施設の設計から工事の監理、耐震補強や修繕などの改修工事とこれらに伴う費用の積算業務が主な仕事になります。工事業務が中心のため、現場へ行く機会も多く、フットワークの軽さが求められます。また、工事を行うための市民への説明や、完成後も施設の維持保全のために、各公共施設の管理部署へ技術的な助言も行っています。

Q. 職場の雰囲気はhowですか？

若い職員が多く、非常に明るく前向きで活力があります。また、職場内で職員の意見も出しやすく、風通しが非常によい職場です。課の業務は、単に公共施設を建築するだけではなく、これからの公共施設の在り方を考える「公共施設マネジメント」にも取り組んでいますので、皆で様々な情報を共有し、協力していく意識がとても強いと感じています。

受験生へのメッセージをお願いします。

公務員は異動によって全く異なった仕事をします。技術職は、事務職に比べて配属先は限られていますが、積極的な姿勢で仕事に取り組めば、職種以外のことも経験できます。むしろそのような姿勢が大切です。また、市民・他市・事業者との関係を築くことも大切であり、広い視野を持つことが求められます。そういう点でも、市職員として働くことに大きなやりがいはあると思います。資格取得に前向きな職員も多く、専門性を上げる意識も高く、これから大きな仕事もたくさん控えているので、ぜひ、府中市職員として大きな仕事と一緒に取り組んでいきましょう！



▲ 東京競馬場で開催される花火大会



▲ 国の天然記念物に指定されている馬場大門のケヤキ並木



▲ ケヤキ並木を彩る冬のイルミネーション

問合せ先 府中市政策総務部職員課人事係

〒183-8703 東京都府中市宮西町 2-24

TEL 042-335-4051 (直通)

Email syokuin01@city.fuchu.tokyo.jp

府中市観光案内図

ようこそ府中へ

遠く大化の改新(645)の後、現在の東京都、埼玉県の一部を含む広大な地域に武蔵国が誕生しました。その後造営された武蔵国分寺は、全国に類を見ない大伽藍を誇り、武蔵国が東国の要衝としていかに重要視されていたかがわかります。この武蔵国の政治、経済、文化の中心地が、国府の置かれていた現在の府中市です。

鎌倉に幕府が開かれると、鎌倉と北関東を結ぶ鎌倉街道の要衝として、また江戸時代には、甲州街道の重要な宿場の一つとして大いに栄えました。

府中には、これら歴史の名残をとどめる史跡やいろいろな祭りが数多くあります。そして、これらにも増して、このまちの豊かな緑は、我々市民が誇りとしているものです。心やすらぐふるさと府中”の魅力をどうぞお楽しみください。

市内の主な行事

- 初詣 (元旦〜7日頃/市内各神社・寺院)
- 節分祭 (2月3日) (大國魂神社)
- 梅まつり (2月上旬〜3月中旬) (郷土の森博物館)
- 市民桜まつり (4月上旬/桜通り・府中公園)
- 例大祭 (くらやみ祭) (5月3日〜6日) (大國魂神社)
- あじさいまつり (6月上旬〜7月上旬) (郷土の森博物館)
- 李子(すもも)祭 (7月20日/大國魂神社)
- 八朔相撲祭 (8月1日) (大國魂神社)
- 商工まつり (8月上旬/大國魂神社)
- 秋季祭(くり祭)・献灯祭 (9月27日・28日) (大國魂神社)
- 西の市 (11月西の日) (大國魂神社)

市内の主な見所

- 大國魂神社：景行天皇41年(111)創立の古社。武蔵国の総社。
- 馬場大門やき並木(国の天然記念物)：大國魂神社の参道であり、南北に約560m続く。5月の例大祭(くらやみ祭)では3日に競馬式(駒くらべ)が執り行われる。
- 高札場(都の旧跡)：江戸時代の公共掲示板。
- 高安寺：足利尊氏が「安国利生」の寺として建立した曹洞宗の名刹。
- 新田義貞公之像：ものふの夢と情熱をモチーフとした分倍河原合戦ゆかりのモニュメント。
- 分倍河原古戦場碑(都の旧跡)：元弘3年(1333)新田義貞と北条泰家が鎌倉幕府の存亡をかけて戦ったという分倍河原古戦場の碑。
- 郷土の森公園：二千年蓮(大買ハス)の咲く修景池や総合体育館などのスポーツ施設がある。
- 郷土の森博物館：郷土の森公園内にプラネタリウムや復元建築物などから成る広大な総合博物館公園。
- 多磨霊園：日本初の公園墓地で、著名人が数多く眠ることで知られる。
- 浅間山：武蔵野の面影を残す小高い丘。春にはムサシノキスガが咲く。
- 東京競馬場：国内の最高峰に位置するレースが開催される。子供向けの施設や博物館もある。

